

## 燃えるごみ有料化に関する意見について

本審議会への諮問「燃えるごみの排出量に応じた費用負担（以下「燃えるごみ有料化」という。）の検討」について、次回審議会における参考資料とさせていただくため、ご意見をお聞かせください。

本審議会での検討課題は、平成35年度までに、「燃えるごみ有料化」の導入について、判断する条件、期日、方法などになります。なお、燃えるごみ有料化を導入すると判断した場合、その実施時期は、ごみ袋などの流通経路構築、市民への広報期間などから、判断した年度から少なくとも2年後を目処としています。

氏 名 \_\_\_\_\_

**項目1** 燃えるごみ有料化の導入について、該当する項目にチェック（☑）及び記入をしてください。

- 平成35年度までに、導入する判断をすべきである ⇒ (1)へ
- 平成35年度までは、導入する判断をすべきでない ⇒ (3)へ

(1) 燃えるごみ有料化を導入する判断をすべきである理由をお聞かせください。 複数可

- ごみの処分には、費用がかかることを市民に理解してもらうため
- 現在、順調にごみは減っているが、今後さらにごみを減らし、ごみ処理基本計画の平成35年度家庭系処分ごみ排出量目標値428g/人・日の達成には、燃えるごみ有料化を導入し、経済的インセンティブによりごみを減量する必要があるため
- ごみ処理施設（焼却施設、最終処分場）の大規模修繕などにより、ごみ処理費用が増加するため
- その他

( )

(2) 燃えるごみ有料化を導入する条件をお聞かせください。 複数可

⇒ 回答後、**項目2**へ

- 平成35年度家庭系処分ごみ排出量目標値が達成できなかったとき
- 家庭系処分ごみ排出量目標値の達成が、2年連続達成できなかったとき
- ごみ処理施設（焼却施設、最終処分場）の大規模修繕などにより、ごみ処理費用が大幅に増加したとき（尾張東部衛生組合における本市の平成30年度負担金は約3億円ですが、平成31年度からの大規模改修工事に伴い、平成32年度からは1億円程度、負担金が増加する可能性があります。）
- その他

( )

(3) 燃えるごみ有料化を導入する判断をすべきでない理由をお聞かせください。

- 本市のごみ処理費用は、県内市町村と比較すると低額であり、平成31年度からのごみ処理施設の大規模改修により、ごみ処理費用が増加しても、県内市町村の中でごみ処理費用は低額であるため（1人あたりのごみ処理費用は1,200円程度増加し7,600円程度になりますが、これを、平成27年度の状況に当てはめてみても、低額な方から6番目となります。）
- 現在、順調にごみは減っており、今後目標が達成できなくとも、他の方法でごみ減量を進めるべきであるため
- 事業系ごみの適正排出について、対策を講じるべきであるため
- 本市のごみ排出量は県内市町村では少ないにもかかわらず、ごみ処理基本計画の平成35年度家庭系処分ごみ排出量目標値428g/人・日の達成ために燃えるごみ有料化を導入するのは、市民の理解が得られないため
- その他

( )

**項目2** 燃えるごみ有料化の方法には、「排出量単純比例型」と「一定量無料型」の2つの方法があります。下記の表を参考に、どちらの方法が本市に適しているか該当する項目にチェック（☑）及び及び記入をしてください。

- 排出量単純比例型 ⇒ (1)へ
- 一定量無料型 ⇒ (2)へ

制度	排出量単純比例型	一定量無料型
特徴	指定ごみ袋などに一定額の「ごみ処理費用」を上乗せして販売する方法	各家庭に一定の無料ごみ袋などを配布し、その配布数を超えてごみを出す場合、指定ごみ袋などを購入する方法
長所	制度が単純であり、制度の運用経費が比較的安価である。	排出抑制効果が高い。(排出量がごみ袋など無料配布数内に抑制される。)
短所	指定ごみ袋の料金が安価な場合、排出抑制効果が低くなる場合がある。	制度の運用に相当な経費がかかる。(無料ごみ袋などの配布にかかる事務負担が大きく、手数料収入以上に経費がかかる。また、無料ごみ袋などの配布には市民の協力が必要)

(1) 排出量単純比例型を選んだ理由をお聞かせください。

複数可

- 排出量単純比例型の方が、ごみの減量に効果があると思うため
- 全世帯から手数料を徴収することから、全世帯にごみ減量意識が芽生えるため
- ごみ処理費用は、排出量に応じて市民が負担する方が公平であると思うため
- 「一定量無料型」は、有料化で得られる手数料収入以上の経費がかかるので、有料化する意味がないため
- その他

( )

(2) 一定量無料型を選んだ理由をお聞かせください。

複数可

- 一定量無料型の方が、ごみの減量に効果があると思うため
- 多く排出すると手数料を徴収されることから、ごみ減量意識が芽生えるため
- ごみ減量を実践した人にはごみ処理費用の負担を求めるのではなく、ごみ減量の努力をせず、多くのごみを排出する人により多くの負担を求める「一定量無料型」のほうが公平であると思うため
- 有料化で得られる手数料収入以上の経費がかかっても、平成35年度家庭系処分ごみ排出量目標値428g/人・日の達成ために、ごみ減量を進める必要があるため
- その他

( )

**項目3** 燃えるごみを有料化した場合、その財源はどのように使われるべきと思いますか。

該当する項目にチェック (☑) 及び記入をしてください。

- ごみ処理施設の改修など、ごみ処理施策に充当する。
- ごみ減量のために集めた手数料なので、新たなごみ減量施策に充当する。
- 市の重点的な施策に充当する。(子育てなど)
- 特に用途を定めず広く使えばよい。
- その他

( )

**項目4** 燃えるごみ有料化以外のごみ減量の方法について

更なるごみ減量に有効と考える手段について、該当する項目にチェック（☑）及び記入をしてください。

- 3キリ運動、雑がみ分別について、あさぴーなどキャラクターを利用した啓発
- 事業系ごみの適正排出の取り組み
- 自治会などにごみ減量の呼びかけ
- 市民団体・自治会などの協力を得た、ごみ出しパトロール
- モデル地区を定め、ごみ減量の集中的な活動の実施
- 燃えるごみの戸別回収
- ペットボトルの集積所回収
- その他

[ ]

**項目5** ごみ処理基本計画の平成35年度家庭系処分ごみ排出量目標値428g／人・日について、該当する項目にチェック（☑）及び記入をしてください。

- 目標値を目指し、（☐経費をかけてでも、☐経費をかけずに）あらゆるごみ減量施策を  
実践すべき
- 本市のごみ排出量は県内市町村で少ない方であるため、十分ごみは減量されており、  
今後も、ごみの排出量が下がっていけば、目標値にこだわる必要はない。
- その他

[ ]

**項目6** 燃えるごみ有料化についての御意見をお聞かせください。

ありがとうございました。

同封の返信用封筒にてご返送ください。

尾張旭市市民生活部環境課ごみ減量係

電話：0561-76-8135

FAX：0561-52-0831

メール：kankyou@city.owariasahi.lg.jp